

製品名: リン酸化 RSK1 p90 (Thr359/Ser363) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00679

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 83 kDa; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6KA1 RPS6KA1; MAPKAPK1A; RSK1; Ribosomal protein S6 kinase alpha-1; S6K-alpha-1; 90 kDa
別名	ribosomal protein S6 kinase 1; p90-RSK 1; p90RSK1; p90S6K; MAP kinase-activated protein kinase 1a; MAPK-activated protein kinase 1a; MAPKAP kinase 1a; MAPKAP
遺伝子 ID	6195
SwissProt ID	Q15418
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

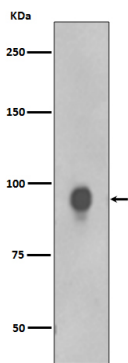
背景

Rsk1 は、Rsk1、Rsk2、Rsk3 を含む 90kDa リポソームタンパク質 S6 キナーゼファミリーのメンバーです。これらは広く発現しているセリン/スレオニンタンパク質キナーゼであり、細胞外シグナル制御タンパク質キナーゼである Erk1 および Erk2 などの分裂促進刺激に応答して活性化されます。Rsk1 は in vitro および in vivo において MAPK によってリン酸化を介して活性化されます。活性型 Rsk は核に移行し、c-Fos および CREB をリン酸化することで転写制御において主要な役割を果たすと考えられています。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



EGF 処理した K562 溶解物中の RSK 1 p90 リン酸化を、Phospho-RSK1 p90 (Thr359/Ser363) 抗体を使用してウエスタン プロット分析しました。